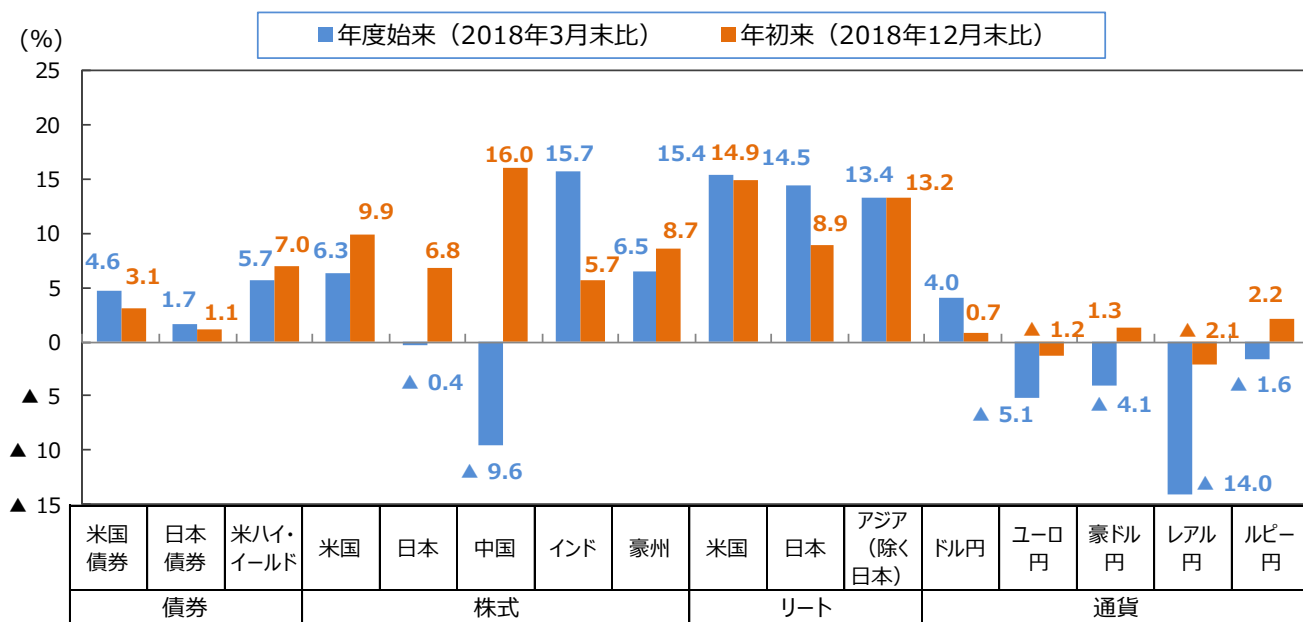


今日のトピック 主要な資産のリターン比較 (2018年度)

株式はまちまち、債券とリートが好調

- 2018年度の主要な資産のリターンを見ると(2019年3月27日時点)、米中貿易摩擦の激化などから世界経済の減速懸念が強まるなか、各国の株式市場はまちまちの動きとなりました。米国への資金還流の動きから、米国市場は相対的に底堅く推移した一方で、中国市場は大幅に調整したほか、経済が比較的好調なインド市場も上昇しました。一方、景気減速観測からグローバルに金利が低下し、債券市場は堅調に推移しました。リート市場は投資家から相対的な安定性が評価され、金利低下の追い風を受けて世界的に上昇しました。為替市場では、米ドル高地合いが続くなかで、円は対米ドルでは下落(円安)しましたが、他の通貨に対しては概ね上昇(円高)しました。
- 2018年度は10-12月期に市場のリスクオフ(回避)の動きが加速しましたが、今年に入ってから、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げ打ち止めを示唆したことを契機に、市場はリスクオン(選好)の動きに転じ、株式、債券、リート市場が揃って上昇するなど、適温相場が再来しています。

【2018年度の主要な資産のリターン比較 (2019年3月27日時点)】



(注) 債券は米国：Bloomberg Barclays US Aggregate Total Return Index、日本：Bloomberg Barclays Japanese Aggregate Total Return Index、米国ハイ・イールド債：Bloomberg Barclays US Corporate High Yield Total Return Index。株式は米国：NYダウ工業株30種、日本：日経平均株価、中国：MSCIチャイナ指数、インド：SENSEX指数、豪州：ASX200指数。リートは米国：S&P米国REIT指数、日本：東証REIT指数、アジア(除く日本)：S&Pパン・アジアREIT指数(除く日本)。

(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2019年3月7日 リート市場の振り返り (2019年2月)

2019年3月5日 先月のマーケットの振り返り (2019年2月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。